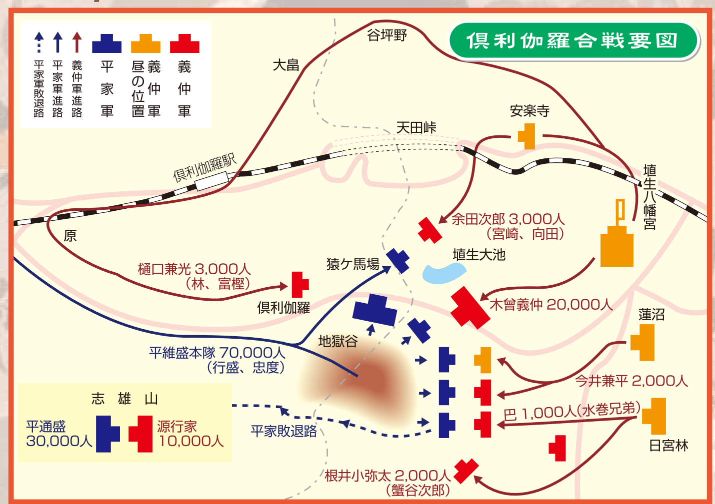
響き渡る義仲軍 鬨の声



寿永２年（1183）５月、信濃国で兵を挙げた木曾義仲と、それを迎え討つため北上した平維盛が砺波山において源平倶利伽羅合戦を繰り広げた。このとき義仲は、埴生八幡宮に戦勝祈願文を奉納し、夜陰に乗じ、鬨の声をあげ五百頭の牛の角に燃えさかる松明をつけ平家めがけて突入。

不意をつかれた平家の軍勢は、あわてふためき、十余丈の倶利伽羅谷へなだれのように落ち込んでいった。これが世に名高い奇襲作戦「火牛の計」である。

●源平倶利伽羅合戦図屏風（石川県津幡町竹橋・倶利伽羅神社蔵）

見て来て体験 メルヘンおやべ
富山県 小矢部市

交通アクセス

●空路

※小松・富山空港より北陸自動車道「小矢部インター」まで約40分

小松空港				富山きときと空港
	約１時間	東京	約１時間	
	約1時間30分	札幌	約1時間20分	
	約１時間	仙台		
	約１時間	静岡		
	約1時間15分	福岡		
	約２時間	那覇		

●高速道路

出発	所要時間・経路	経由	所要時間・経路	到着
東京	約３時間 関越自動車道	長岡	約2時間30分 北陸自動車道	小矢部インター
名古屋	約２時間30分 東海北陸自動車道			小矢部インター
名古屋・大阪	約１時間 名神高速道路	米原	約２時間 北陸自動車道	小矢部インター

●列車

出発	所要時間・列車	到着
東京	約3時間 北陸新幹線	JR石動駅
名古屋	約3時間30分 特急	JR石動駅
大阪	約3時間20分 特急	JR石動駅

●タクシー

■石動タクシー TEL（0766）67-1133
■小矢部交通 TEL（0766）67-1212
■津沢タクシー TEL（0766）61-2045
■高陵タクシー TEL（0766）50-9511

お問い合せ

小矢部市観光振興課
〒932-8611 富山県小矢部市本町１番１号
TEL.(0766)67-1760 FAX.(0766)67-1567
http://www.city.oyabe.toyama.jp/
E-mail kankou@city.oyabe.toyama.jp

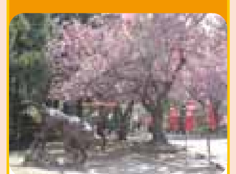
小矢部市観光協会
〒932-8611 富山県小矢部市本町１番１号
TEL.(0766)30-2266 FAX.(0766)67-1567
http://oyabe.info/
E-mail oyabe.kankoukyoukai@bloom.ocn.ne.jp

倶利伽羅にちなんだ年中行事

歴史国道イベント

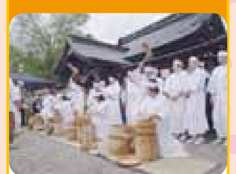
４月下旬
埴生護国八幡宮〜倶利伽羅峠

「倶利迦羅さん八重桜まつり」



4月28日〜5月5日
倶利伽羅峠

「倶利迦羅さん念仏赤餅つき」

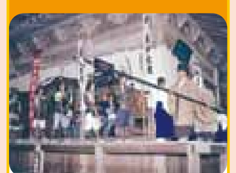


４月28日・29日
倶利迦羅不動寺（津幡町）

源平火牛まつり

７月下旬
石動商店街・埴生護国八幡宮

宮めぐりの神事



９月中旬
埴生護国八幡宮

源氏太鼓

９月10日
下後亟神明宮

倶利伽羅八重桜

倶利迦羅不動寺に通じる道路の両脇に約6,000本余りの八重桜の並木が続き、毎年ゴールデンウィークの頃になると、花が満開となり、連日観光客で賑わいます。
もともと植樹したのは“昭和の花咲かじいさん”と呼ばれた高木勝己さん。倶利伽羅峠で事故にあい、奇跡的に助かった高木さんが恩返しにと植樹を始めました。

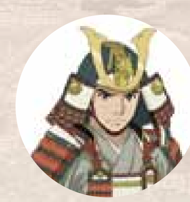
木曾義仲とはどんな人物？ 〜義仲と巴の波瀾万丈の生涯〜

〜木曾義仲《年表》〜

年	出来事
1154年（久寿元年）	駒王丸（後の義仲）武蔵国（今の埼玉県）に生まれる。
1155年（久寿２年）	駒王丸の父 義賢が源義平に討たれる。
	駒王丸、木曽の中原兼遠のもとに逃れる。
1156年（保元元年）	保元の乱
1159年（平治元年）	平治の乱
1166年（仁安元年）	駒王丸、元服して木曾次郎義仲を名乗る。
1180年（治承４年）	平家の横暴に対して以仁王が平家追討の令旨を全国にふれまわす。9月、義仲、挙兵する（27歳）
1181年（養和元年）	義仲、平家方の城氏を横田河原の戦いで撃ち破る。
1183年（寿永２年）	**5月、義仲、倶利伽羅合戦で奇襲作戦「火牛の計」を用いて平家の大軍を撃ち破る。**7月、義仲、京へ進軍。後白河法皇より「朝日将軍」の称号を賜る。11月、義仲、後白河法皇と対立、法皇は源頼朝に援助を求める。
1184年（寿永３年）	源頼朝、源範頼・源義経を京へむかわせる。義仲、征夷大将軍に任ぜられる。義仲、範頼・義経に攻められ、近江の粟津（今の滋賀県）で討ち死にする（31歳）

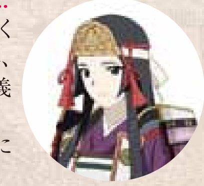
平清盛 ―対立― 源（木曾）義仲 ―対立・従兄弟― 源頼朝／源義経

■木曾義仲（源義仲） きそよしなか（みなもとのよしなか）

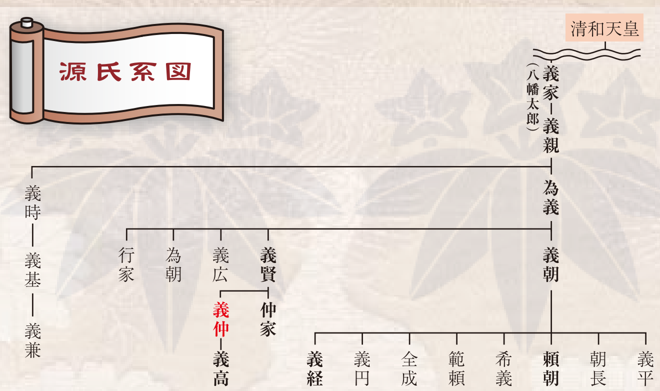


平安時代末期の信濃国（今の長野県）の武将。源頼朝・義経とは従兄弟にあたる。27歳で挙兵。倶利伽羅峠で平家の大軍を破って上洛し、平家を都落ちさせ無血入京を果たす。その後、頼朝が派遣した義経らの軍に敗れ、31歳で討ち死にした。

■巴 ともえ



その生涯は謎に包まれており、「平家物語」によれば「色白く髪長く、容顔まことに優れたり」という美人で、「強弓精兵、一人当千の兵者（つわもの）」であったという。幼い頃から義仲とともに育ち、義仲挙兵後も女武将としてともに戦った。
最後の戦いでは、義仲とともに死ぬことを願ったが、義仲に諭され泣く泣く落ち延びていったという。



1 埴生護国八幡宮 はにゅうごこくはちまんぐう

木曾義仲が戦勝を祈願したことで有名。約1300年の歴史をもち、国の重要文化財に指定されている。本殿は素木造りで安土桃山時代の特徴を現し、また釣殿等には江戸初期の様式が残されている。加賀藩前田家の寄進により手厚く保護されてきた。宝物殿には、歴史上貴重な数々の古文書や文具が納められている。
小矢部市埴生 2992（TEL.0766-67-1220）

2 鳩清水 はとしみず

義仲が八幡宮祈願の折、白鳩の飛来があり、その案内で義仲軍が清水を得たと伝える「鳩清水」の滝を水源にしている。「とやまの名水」に指定。

3 源義仲騎馬像 みなもとのよしなかきばぞう

昭和58年に源平倶利伽羅合戦800年記念として建立。像の重量だけで5トンもあり、馬上の人物像としては日本最大級のものである。

4 各務支考の句碑 かがみしこうのくひ

〜白鳩の 木末に涼し 神の御意〜
松尾芭蕉の弟子で十哲の一人といわれた各務支考が詠んだ。

5 倶利伽羅源平の郷埴生口 くりからげんぺいのさとはにゅうぐち

「歴史国道」の案内休憩施設。倶利伽羅峠について楽しく学ぶことができる遊学塾。無料で電動アシスト自転車のレンタルができる。
小矢部市埴生 2996-5（TEL.0766-67-5645）
㊌9：00〜17：00 ㊡第3月曜日

6 義仲進軍路碑 よしなかしんぐんろひ

義仲はこの地より毘沙門川を上がり、進軍したという。